

目指す姿

あらゆる人々が文化芸術に親しみ、交流することで創り育む  
心豊かな県民生活と活力ある地域社会

5つの視点

アイデンティティー

多様性

継承

創造

展開

施策の柱

施策の展開

施策項目

<p><b>(1)あらゆる人々が文化芸術を享受できる環境づくり</b></p> <p>文化芸術活動を行う人々の自主性や専門性が尊重されるとともに、障害の有無や年齢に関わらず、誰もが文化芸術を実践・鑑賞することができる環境を整備する</p>	<p>あらゆる人々が文化芸術にふれ親しむ機会の提供、関心及び理解の促進</p> <p>文化芸術活動の担い手やそれを支える人材の育成・支援</p> <p>文化施設等の機能の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化芸術活動に参加・発表できる場づくり</li> <li>○文化施設における公演や展覧会等の充実</li> <li>○文化施設以外での鑑賞の機会の提供</li> <li>○多様な人々が文化芸術活動に参画できる機会の提供</li> <li>○文化芸術活動の担い手やそれを支える人材の育成</li> <li>○文化芸術活動に関わる人材の活用と活動の場の提供</li> <li>○多様な主体による支援の促進</li> <li>○文化芸術活動拠点としての機能の充実</li> <li>○地域の活動支援体制の充実</li> <li>○文化施設における受入環境の整備</li> </ul>
<p>[施策項目] 「読書県「ちば」の推進」、「顕彰の実施」、「企業メセナ等による支援の促進」は、具体的な施策に近いので、本文に記載。 「障害者や外国人が文化芸術活動に参画できる機会の提供」は、子どもや高齢者など、他にも文化へのアクセシビリティの点で配慮が必要な方がいるため、「多様な人々」に変更。</p>		
<p><b>(2)ちばの多様な文化芸術が輝き続ける地域づくり</b></p> <p>県内各地で守られてきた伝統文化や新たに生まれている芸術を活用した地域活性化などにより、未来に「ちば文化」を継承する体制を整備する</p>	<p>多様な「ちば文化」を知る機会の提供</p> <p>伝統文化・郷土芸能の保存・継承</p> <p>文化財・文化的景観等の保存と活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伝統的な文化や芸能にふれる機会の提供</li> <li>○新たに生まれている文化芸術に関する情報提供</li> <li>○県ホームページや県刊行物等を活用した発信</li> <li>○県内の文化財に関する情報提供</li> <li>○博物館・美術館の収蔵資料の情報提供</li> <li>○郷土芸能の記録映像等の作成</li> <li>○文化芸術や郷土芸能の保存や後継者育成</li> <li>○千葉県伝統的工芸品の指定や後継者養成</li> <li>○文化財の保存に配慮した活用と公開の推進</li> <li>○文化財の調査と普及活動の推進</li> <li>○文化的景観の保全と活用の推進</li> </ul>
<p>[施策項目] 「無形の民俗文化財の公開の促進」、「伝統芸能にふれる機会の提供」は、内容が近いので、項目名を「伝統的な文化や芸能にふれる機会の提供」に統合。</p>		
<p><b>(3)新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり</b></p> <p>産業や観光・教育等、他分野との連携により文化芸術が社会の様々な場面で輝く機会を創出する</p>	<p>様々な主体による文化芸術のネットワークの構築</p> <p>観光等の様々な分野と連携した文化資源の活用と地域の活性化</p> <p>文化施設の多面的な活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報交換・意見交換会の開催</li> <li>○文化芸術団体と企業・NPO・大学等との連携</li> <li>○郷土芸能保存団体のネットワーク化の推進と活性化</li> <li>○文化資源を活用したまちづくり</li> <li>○観光地域づくりや国際交流における文化資源の活用</li> <li>○日本遺産を活用した地域活性化</li> <li>○東京2020大会の文化プログラム関連イベントの実施により得られた資源、ネットワークの活用</li> <li>○芸術家・文化人や文化芸術団体、県民、市町村等との交流・連携の強化</li> <li>○文化施設等の地域への開放</li> </ul>
<p>[施策の柱、施策の展開] 「文化」を、他の部分と表現を統一し、「文化芸術」に変更。</p>		
<p>[施策項目] 「観光振興」を、官公庁の施策等で一般的に使われている「観光地域づくり」に変更。</p>		
<p><b>(4)次代を担う子どもや若者がちばの文化芸術にふれる機会づくり</b></p> <p>新たな文化芸術の担い手となる子ども・若者に文化芸術にふれる機会を創出する</p>	<p>子どもたちが豊かな感性を育む文化芸術に出会う機会の充実</p> <p>若者の文化芸術活動の支援</p> <p>伝統文化や郷土芸能を担う子ども・若者の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもたちが文化芸術にふれ親しむ機会の提供</li> <li>○学校教育における文化芸術活動の充実</li> <li>○発掘で出土した文化財の学校等と連携した活用</li> <li>○若者による創造的な文化芸術活動への支援</li> <li>○若者が文化芸術活動に参加できる機会の提供</li> <li>○児童生徒に対する伝統文化にふれる機会の提供</li> <li>○関係団体と連携した今後を担う人材の育成</li> </ul>
<p><b>(5)ちばの強みを活かした文化芸術の創造・発信</b></p> <p>県内で活発な若者の音楽活動や、多様で豊かな新たな「ちば文化」が生まれ育まれやすい土壌など、ちばの強みを活かした「ちば文化」の創造を推進し、発信する</p>	<p>千葉県の強みとなっている文化芸術の充実と発信</p> <p>「ちば文化」の魅力再構築と情報発信</p> <p>先端技術や国内外との交流を取り込んだ新たな「ちば文化」の創造と発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「県民の日」の機会を利用した「ちば文化」の紹介</li> <li>○全国的に水準の高い音楽分野の魅力発信</li> <li>○国際交流による「ちば文化」の発信</li> <li>○「ちば文化資産」を活用した情報発信</li> <li>○「ちば文化」の魅力の発掘と情報提供</li> <li>○先端技術と芸術を融合させた新たな文化芸術の紹介</li> <li>○古くから守り伝えられてきた伝統文化と新たな文化の融合</li> </ul>

基本指標

「この1年間に文化芸術にふれた県民の割合」

県政に関する世論調査において、「文化芸術にふれたか(鑑賞・活動等をしたか)」の問いに対し、「ふれなかった」及び無回答を差し引いた県民の割合

<計画策定に向けた課題>

新型コロナウイルス感染症の影響により、文化芸術活動を行う上での感染防止対策や、従来の事業実施形態の見直しが必要。  
(例) これまでの「人を1か所に集めて行う」実施形態だけでなく、オンライン開催等も含めた普及・啓発方法の検討

<計画策定期期>

当計画は当初、令和2年度中の作成を見込んでいたが、新型コロナウイルス感染症の影響及び東京2020大会の開催延期等を踏まえ、策定期期の延期を予定している。